

第83期 事業報告書

平成27年4月1日 ▶ 平成28年3月31日

⊕ 戸田工業株式会社

株主の皆様へ



代表取締役社長
たからぎ しげる
寶來 茂

平素は格別のご高配を賜りありがたく厚くお礼申し上げます。

ここに、当連結会計年度(自平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)の事業報告書をお届けするにあたりまして、日ごろの当社グループに対するご理解とご支援に厚くお礼申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策を背景に、企業収益の改善、設備投資の持ち直し等、緩やかな回復基調が続いております。一方、中国経済をはじめとした海外経済の減速、年明けからの急速な円高・株安の進行等、景気の先行きは依然として不透明な状況となっております。

こうした状況のもと、当社グループにおきましては、前連結会計年度において国内のリチウムイオン電池正極材料事業を持分法適用会社化したことにより、売上高は28,510百万円(前期比16.3%減)となりました。しかしながら、当社が最優先の経営指標に掲げております営業利益率は昨年度から推進してきた原価低減・経費削減等により3.7%(前期比1.0ポイント増)と改善しており、営業利益は1,051百万円(前期比15.2%増)となりました。

なお、持分法による投資損失1,942百万円、為替差損607百万円等があり、経常損失は1,440百万円(前期は経常利益963百万円)となりました。また、持分法適用の非連結子会社から連結子会社への移行処理に伴い発生した段階取得に係る差損2,325百万円、電子素材事業の固定資産における減損損失1,879百万円、法人税等調整額1,328百万円等があり親会社株主に帰属する当期純損失は6,865百万円(前期は親会社株主に帰属する当期純利益559百万円)となりました。

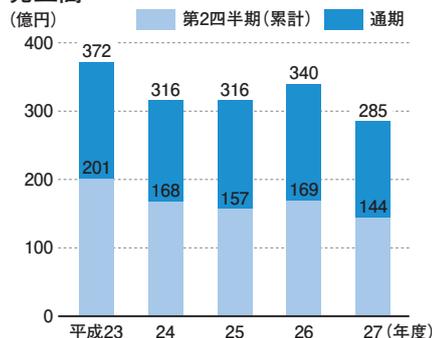
次期の見通しにつきましては、当連結会計年度と同様に依然として先行き不透明な状況のもと、当社グループにおきましては、継続的なコスト削減・持分法投資損益の改善に取り組み高収益体質への転換を目指します。また、磁石材料の海外市場の新規開拓、スマートフォン、ウェアラブル機器向けフェライトシート事業の拡大、電池事業の再構築等を推進し連結業績の拡大を図る所存であります。

以上をふまえて平成28年3月期通期業績は、売上高33,900百万円、営業利益1,000百万円、経常利益900百万円、親会社株主に帰属する当期純利益800百万円を見込んでおります。

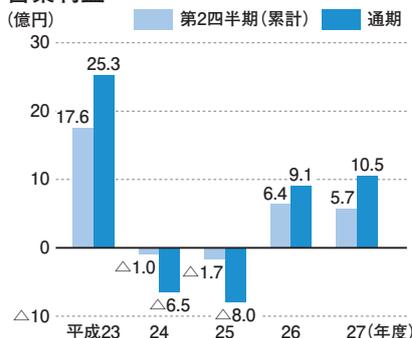
ここに、第83期の事業概要をご報告申し上げますので、今後とも格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

財務ハイライト (連結)

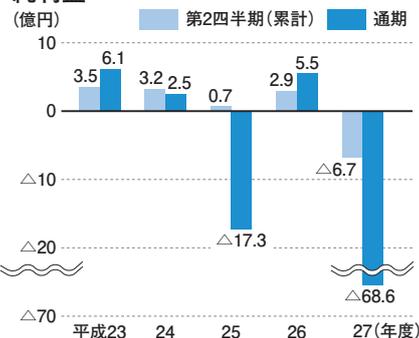
売上高



営業利益



純利益

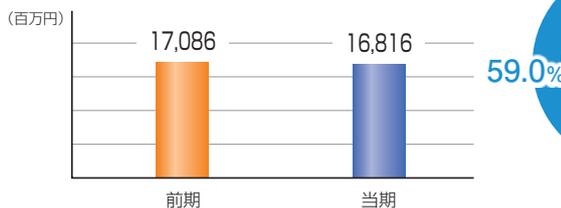


報告セグメント別概況



機能性顔料

売上高 16,816百万円
前期比 1.6%減



当期の活動POINT

- 海外市場の停滞、売上商品構成の変化等があり、売上高は前期比1.6%減の16,816百万円、セグメント利益は前期比10.3%減の2,833百万円となりました。



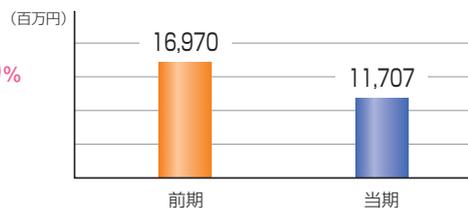
▲ カラー舗装用着色バインダー「CSファルト」施工事例

(注) 上記売上高において、セグメント間の内部売上高等が、前期には11百万円、当期には14百万円、含まれています。



電子素材

売上高 11,707百万円
前期比 31.0%減



当期の活動POINT

- 前連結会計年度において国内のリチウムイオン電池正極材料事業を持分法適用会社化したことにより、売上高は前期比31.0%減の11,707百万円、セグメント利益は前期比586.6%増の425百万円となりました。



▲ 超小型 金属対応「フェライトICタグ」

事業所・関連会社

事業所

本社 (広島県広島市南区)
創造本部 (広島県大竹市)
大竹事業所 (広島県大竹市)
小野田事業所 (山口県山陽小野田市)
東京OFFICE (東京都港区)



主な関連会社

- 国内**
- 戸田ピグメント株式会社 (岡山県岡山市北区) 無機顔料の製造販売
 - 東京色材工業株式会社 (東京都板橋区) 有機顔料の製造販売
 - 戸田ファインテック株式会社 (広島県大竹市) 製造工場における業務の請負・派遣
 - BASF戸田バッテリーマテリアルズ合同会社 (東京都港区) リチウムイオン電池正極用材料の製造販売
- 海外**
- 戸田工業ヨーロッパ GmbH (独:デュッセルドルフ) EUにおけるマーケティング・販売
 - 戸田アメリカINC. (米:バトルクリーク) リチウムイオン電池正極用材料の製造販売
 - 戸田アドバンストマテリアルズINC. (加:サーニア) リチウムイオン電池正極用材料の製造販売
 - 戸田麦格昆磁性材料(天津)有限公司 (中:天津市) 希土類コンパウンドの製造販売
 - 浙江東磁戸田磁業有限公司 (中:浙江省) ボンドフェライトの製造販売
 - 戸田塑磁材料(浙江)有限公司 (中:浙江省) 磁性コンパウンドの製造販売
 - 戸田聯合実業(浙江)有限公司 (中:浙江省) 無機顔料の製造販売
 - 戸田磁鉄(深圳)有限公司 (中:広東省) ゴム磁石の製造販売
 - 戸田国際貿易(上海)有限公司 (中:上海市) アジアにおけるマーケティング・販売
 - 戸田フェライト코리아CO.,LTD. (韓:釜山市) ボンドフェライトの製造販売
 - TODA ISU CORPORATION (韓:江原道) 磁性材料の製造販売

カーボンナノチューブ製造プラントが竣工しました

広島ガス株式会社様の海田基地内において建設を進めておりましたカーボンナノチューブ(以下、CNT)の製造プラントが完成し、4月15日に竣工式を行いました。

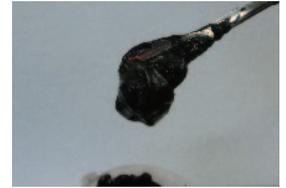
CNTとは、「カーボン=炭素」「ナノ=ナノメートル」「チューブ=円筒」と3つの言葉を合わせたものです。その名のとおり、炭素原子が網目のように結びついて筒状になったモノで、直径はナノメートル単位ととても細く、人の髪の毛の5万分の1の太さです。

当社では、CNTの電気伝導性、熱伝導性や補強性といった特長を活かし、リチウムイオン二次電池(LIB)やキャパシタ等への導電材、導電助剤用途を中心に、幅広い市場への展開を目指しています。CNTを電池の電極内部に数%添加することで、内部にCNTと活物質のネットワークが形成され、導電性が向上します。また充放電に伴う電極の膨張収縮に容易に対応することで高寿命化や電極の厚塗りによる高容量化が目指せます。

これまでのCNTは分散が難しく市場への普及が遅

れています。当社では、分散し易いCNTの開発に成功し、量産化の目途が付きました。開発したCNTは、分散性に優れているため、分散液の高濃度化も実現できます。

このCNTの製造方法には、天然ガス等の炭素源を含む炭化水素ガスを用い、CO₂を排出させず直接CNTと水素を合成するという直接改質法を適用しました。これにより、様々な特長を持つCNTの合成とともに、今後クリーンエネルギーとして期待される水素を同時に合成することが可能となります。



▲従来の難分散CNT粉によるCNT分散液



▲当社開発CNT粉



▲当社開発高濃度CNT分散液

財務諸表(連結)

連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

科目	期別	前連結会計年度	当連結会計年度
		平成27年3月31日	平成28年3月31日
資産の部			
流動資産		26,131	20,482
固定資産		34,392	28,851
有形固定資産		17,557	17,159
無形固定資産		764	2,447
投資その他の資産		16,070	9,244
資産合計		60,524	49,334
負債の部			
流動負債		22,639	21,899
固定負債		8,549	6,137
負債合計		31,189	28,037
純資産の部			
株主資本		26,247	19,144
その他の包括利益累計額		1,912	1,121
新株予約権		—	11
非支配株主持分		1,174	1,020
純資産合計		29,334	21,297
負債純資産合計		60,524	49,334

連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

科目	期別	前連結会計年度	当連結会計年度
		自平成26年4月1日 至平成27年3月31日	自平成27年4月1日 至平成28年3月31日
売上高		34,045	28,510
営業利益		912	1,051
営業外収益		1,125	435
営業外費用		1,074	2,927
経常利益又は経常損失(△)		963	△1,440
特別利益		2,424	604
特別損失		2,086	4,246
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)		1,301	△5,082
当期純利益又は 当期純損失(△)		692	△6,675
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)		559	△6,865

(注) 本書記載の金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しています。

株式の状況 (平成28年3月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	193,000,000株
発行済株式の総数	60,991,922株
株主数	7,428名
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部

株主の構成

所有株数別分布状況 (持株比率)	所有者別分布状況 (持株比率)	地域別分布状況 (持株比率)
■ 50万株以上 47.3%	■ 個人その他 43.0%	■ 北海道 0.4%
■ 5万株以上50万株未満 15.2%	■ その他国内法人 29.0%	■ 東北 0.9%
■ 5千株以上5万株未満 22.8%	■ 金融機関 21.5%	■ 関東 58.6%
■ 5千株未満 14.7%	■ 証券会社 4.7%	■ 中部 4.4%
	■ 外国法人等 1.8%	■ 近畿 10.6%
		■ 中国 20.5%
		■ 四国 1.2%
		■ 九州 1.8%
		■ 海外 1.6%

大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
伊藤忠商事株式会社	12,600	21.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	4,800	8.3
株式会社広島銀行	2,174	3.8
堤浩二	1,515	2.6
株式会社中国銀行	1,200	2.1
高橋由紀子	1,029	1.8
明治安田生命保険相互会社	844	1.5
中村義巳	730	1.3
株式会社SBI証券	619	1.1
日本生命保険相互会社	576	1.0

(注) 1.上記のほか当社所有の自己株式3,405千株があります。
2.持株比率は自己株式を控除して計算しています。

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会開催日 6月中
(ご参考 第83期定時株主総会 平成28年6月29日開催)
- 期末配当金受領株主確定日 3月31日
- 中間配当金受領株主確定日 9月30日
- 基準日 定時株主総会については3月31日
その他必要あるときは、公告して
定めた日
- 株式事務
株主名簿管理人及び
特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
事務取扱場所 大阪府中央区北浜四丁目5番33号
(郵便物送付先) 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ☎ 0120-782-031
(ホームページURL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>
- 公告方法 電子公告
(<http://www.todakogyo.co.jp/docs/ir/j/index.html>)
ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。

ご案内

- 株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について
証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記の電話照会先までご連絡ください。
- 特別口座について
株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先にお問い合わせいたします。

会社概要

会社概要 (平成28年3月31日現在)

商号	戸田工業株式会社 (TODA KOGYO CORP.)
本店所在地	広島県広島市南区京橋町1番23号 ☎082(577)0055
設立	昭和8年11月30日(創業:文政6年)
資本金	74億77百万円
事業目的	1. 顔料の製造、加工および販売 2. 磁性材料の製造、加工および販売 3. その他の無機薬品の製造、加工および販売 4. 環境保全設備の設計、施工および販売 5. 記録媒体の製造、加工および販売 6. 土木工事、とび・土工工事、鋼構造物工事 および舗装工事の請負、企画、設計、監理 およびコンサルティング 7. 前各号に付帯する一切の業務

ホームページアドレス <http://www.todakogyo.co.jp/>

役員 (平成28年6月29日現在)

代表取締役会長	久保田 正
代表取締役社長	竇 来 茂
常務取締役	岡 宏
常務取締役	長 瀬 光 範
取締役	釣 井 哲 男
取締役(社外取締役)	桑 野 秀 光
取締役(社外取締役)	大 堀 英 生
監査役(常勤監査役)	中 川 隆 行
監査役(社外監査役)	大 本 宜 司
監査役(社外監査役)	高 野 幹 夫
監査役(社外監査役)	千 賀 明 雄